

#1862 スプリングダイノ1

この度はスプリングダイノ1をお買い求め頂き誠にありがとうございます。
本機はダンパー&モータースプリング専用のスプリングテンションゲージです。誰でも簡単にダンパーやモータースプリングのテンションを測定できます。

注意

◎本機をご使用の場合は水平な机の上などでご使用ください。

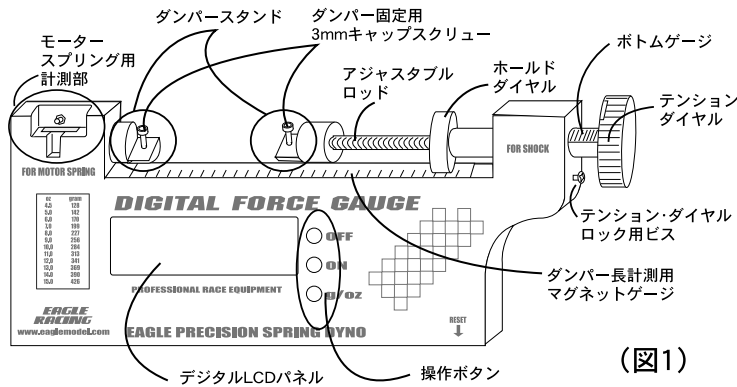
◎データ測定時は直射日光等避け、温度変化の少ない場所で行ってください。

(本機は0.1oz又は2gといった微量なテンションまでの数値を感知することができます。そのため、スプリングテンションは傾き、揺れ、温度変化、その他諸々の条件変化により常に多少変動致すからです。)

◎また、バッテリーセーブ機能により数分間操作が行われなかった場合は自動的に電源がオフになります。

| | |
|------------------------------------|------|
| 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しないでください。 | 分解禁止 |
| 子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところでは使わないでください。 | 禁止 |
| 燃え易い物の上で使用しないでください。 | 禁止 |
| 指定(アルカリ単4=4本)以外のバッテリーは使用しないでください。 | 禁止 |
| 異常が発生した場合直ちに使用を中止してください。 | 強制 |
| 水のかかることや、火気の近くでは使用しないでください。 | 禁止 |

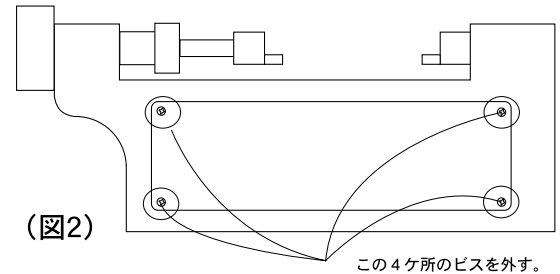
各部名称



(図1)

バッテリーのセット

本機は単4乾電池4本で使用できます。本体を裏返し、4箇所のビスを精密ドライバーで取り外します。(図2) プレートを外し電池ボックスに極性指定にしたがって単4乾電池をはめ込みます。(※この時、基板やチップ等には触れないでください。) プレートを元に戻し、ビスで元通り固定します。



(図2)

A.モータースプリングテンション

ダンパー計測を同時に行うことはできません。
ダンパーを取り外した状態で作業を行ってください。

RCカー用DCモーターはスプリングのテンションを変化させることでモーター回転数(消費電流)をコントロールできます。もしも、消費電流をおさえたい場合はテンションの強いスプリングに変更することで調整が可能です。また、より高回転をお望みのならば強めのスプリングをおすすめします。ただし、必ずしも二つのスプリングが同じテンションでなくても良いです。このことにより、より幅の広いセッティングができるようになるのです。測定値は振動、温度変化などの諸々の条件変化により常に変動するからです。

モータースプリングテンションの計測方法

1) ゼロ点のセット

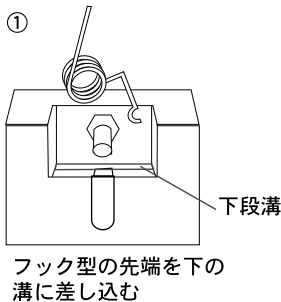
本機を水平な机の上等に置き、ONボタンを押します。起動画面が2秒程表示されゼロ点が表示されます。

(本機の傾きや揺れによりゼロ点がうまく設定できなかった場合は再度ONボタンを押してゼロ点を確実にセットします。(図3))

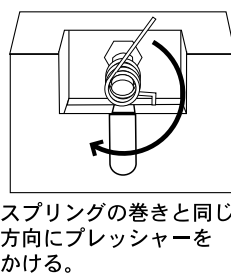
2) スプリングのセット

本体下部のスプリング測定位置に測定したいモータースプリングをセットします。(図4)

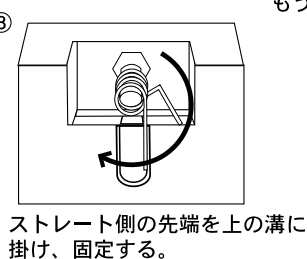
(図4) ①



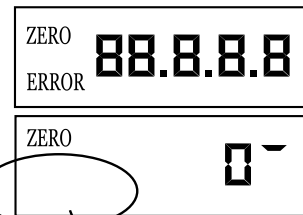
②



③



(図3)



起動画面

ここにERRORが出たり、0点を設定できなかった場合はもう一度やり直してください。

注) 逆巻きのスプリングの場合は①~③を左右対称に作業を行ってください。

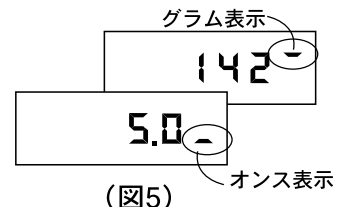
3) 測定

測定値が画面に表示されます。(図5)

(g/ozボタンを押すことで表示を切り替えることができます)

*最初に検知した数値を計測値としてください。

測定値は振動、温度変化などの諸々の条件変化により常に変動するからです。



(図5)

B.ダンパーテンション

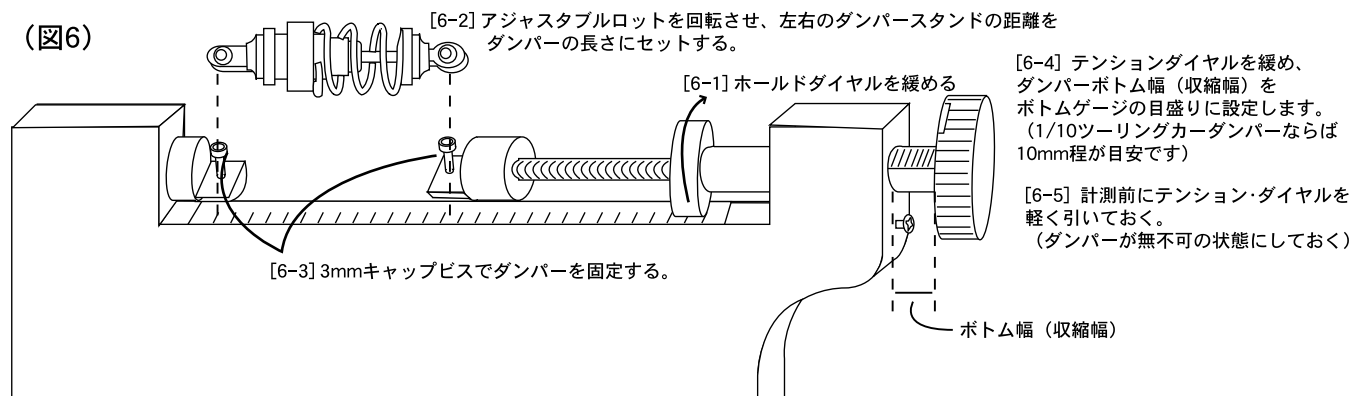
モータースプリング計測を同時に行うことはできません。
モータースプリングを取り外した状態で作業を行ってください。

今までは、精度の高いプレジジョン・ダンパースプリングを用いても、左右のダンパーテンションを感触だけで調整し同じの作り出すことは大変難しい事でした。
しかし、このダイノを使用することによって誰でも簡単かつ確実に同じレート of のダンパーを作る事ができます。

ダンパーテンションの計測方法

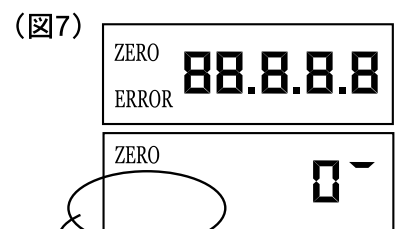
セッティング (図6)

- ①まず初めに、計測したい左右のダンパーの長さを同じにします。
- ②本体のホールドダイヤルをゆるめます。(図[6-1]参照)
- ③アジャスタブル・ロットを回転させ左右のダンパースタンドの距離をダンパーの長さにセットします。(図[6-2]参照)
- ④計測したいダンパーを左右のダンパースタンドへ3mmキャップスクリュー2本で固定します。(図[6-3]参照)
- ⑤テンション計測時のダンパーのボトム分(収縮分)を設定するためにテンション・ダイヤルをゆるめ、お好みの値にセットします。(図[6-4]参照)
これはあくまでも計測に対する基準のため、いくつでなければならないというものではありません。
※1/10ツーリングダンパーならば10mmくらいが良いです。
ボトム分の基準値が決定したらホールドダイヤルを右に一杯回しアジャスト・ロットを固定します。
- ⑥テンションダイヤルを軽く引き、ダンパーへの負荷がない状態にします。(図[6-5]参照)

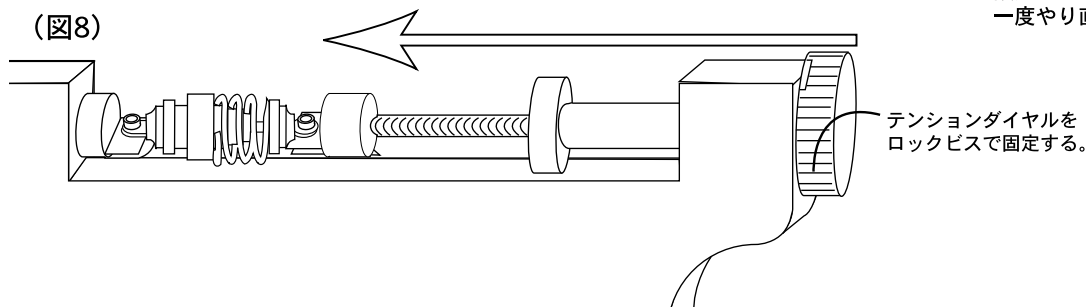


計測 (図7~8)

- 計測前に今一度、テンション・ダイヤルを軽く引いておきます。
これはゼロ点を確実にセットする為です。
- ①本機を水平な机の上等に置き、ONボタンを押します。
 - ②LCDパネルに起動画面が2秒程表示された後ゼロ点が表示されます。
(本機の傾きや揺れによりゼロ点がうまく設定できなかった場合は再度ONボタンを押してゼロ点を確実にセットします。(図7))
 - ③素早くテンション・ダイヤル押ししてロック用ビスに固定します。(図8)
最初に出た数値をチェックしてください。
(この値は振動、温度変化など、もろもろの条件の変化により、敏感なダイノの値が変動するからです。)



ここにERRORが出たり、0点が設定できなかった場合はもう一度やり直してください。



付加機能

- 1.ダイノ上部にある、ダンパーの長さを見るためのモノサシはマグネットで止まっています。
ダンパーの固定ビスの中心間の長さを測るのに便利です。左右に移動可能なため計測したい部分測ることもできます。
インチサイズを測定したい場合はモノサシを裏返しにしてください。
- 2.ダイノの計測値はグラムとオンスで測定可能です。切り替えボタンで選択してください。詳しくは図5をご覧ください。

その他、ご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

イーグルサービスカウンター

☎440-0842 愛知県豊橋市岩屋町62-79

TEL 0532-61-1554 FAX 0532-61-1727

e-mail service11@eaglemodel.com